



解題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもって前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

2023.10 月第659号

発行所 アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町 567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編集 アシュラム誌編集委員会

振替 01050-6-53772
アシュラムセンター

印刷 明文舎印刷商事(株)

「礼拝は罪だ！祈りも罪だ！供え物も罪だ！」と主は言われる。『私の宮をふみあらすな！出ていけ！手を上げるな！私は目をおおってあなた方を見ない 供え物を再び携えてくるな！私はそれを憎む！あなた方の信仰は迷信だ！あなた方の祈りの手は弱者の血で汚れている あなた方の供え物は 搾取の悪臭しか放たない！』

ああ主よ！あなたは私たちの礼拝を見て 反感を懐くあなたは私たちの聖会を『悪』だと断定し 私たちの礼拝を『それは私の重荷である』と呼ばれる 生命がないからです 善への思慕と 公平への情熱がないからです 主よ！罰してください そして真理への 強いあこがれを」。

これは、台湾アシュラムの指導者、高俊明牧師の「礼拝は罪だ（イザヤ書1章参照）」と題された詩である。高牧師は、4年前の2月に天へ凱旋された。しかし、その残された足跡は、今も私たち主に従い行くものに対し、悔い改めを迫り、その行くべき道を指し示してくれる。真の霊的礼拝、生命のある礼拝、善への思慕と公平への情熱を持つ礼

拝、果たして、私たちのささげる礼拝は、この真理への強い憧れに満ちているだろうか。

今月末、私たちアシュラムセンターは、台湾愛修会のメンバーと共に、「第18回国際正義平和アシュラム」を行う。

28年前、伊江島でのアシュラム集會に、大勢の台湾の友が来られ、東アジアに平和を求める祈りが捧げられた。その時、参加者のお一人、当時

瞑想

御言葉をを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの人であってはなりません。

ヤコブ1:22(協)

主幹牧師 榎本 恵

の台湾基督長老教会総幹事を務めておられた羅榮光牧師の言われた言葉が忘れられない。「平和をただではなく、公義をも求めなければ、本当の平和は来ない」。1996年の台湾総統選挙を前に、大陸からの無数のミサイルが向けられ、台湾海峡に緊張感が高まった頃だった。「公義」を求める、その悲痛な叫びは、私たちの心を揺さぶった。以来、この

アシュラムの名称を、「国際正義平和アシュラム」と名乗り続けている。

もちろん、私たちのなすべきことは、政治運動でも、平和運動でもない。私たちアシュラム運動は祈りの運動である。しかし、もし、それがただ座

して自分達の利益や安寧だけを求める祈りであるならば、それはイザヤが警告し、高俊明牧師が叫び、台湾の友が祈

る「真の霊的礼拝、生命ある礼拝、善への思慕と情熱を持つ礼拝」とは違うものになっ てしまわないか。世界の平和を祈ることは、まさにこの世界に正義が、そして公平が、真理が満ち溢れることを祈ることなのではないか。ある人たちは、そんな私たちを揶揄して「祈って、平和が来たか」と嘲る。しかし今、台湾も、中国も、ロシアも、ウクライ

ナも、アメリカも、そして我が日本も、全ての人に正義が行き渡り、真に安心して暮らせる世界となることを祈り求めるのだ。なんの忖度も、偏りもない正義と平和。これこそが私たちの「国際正義平和アシュラム」にほかならない。「御言葉を行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの人であってはなりません」(ヤコブ1:22)。今月与えられたヤコブの手紙は、続けてこう言う。「みなしこや、やもめが困っているときに世話をし、世の汚れに染まらないように自分を守ること、これこそ父である神の前に清く汚れのない信心です」と。台湾の歴史は、まさに世界の孤児とされた歴史であった。今も、次々と中国の横槍によって国交が断絶されている。正義よりも経済が優先され、大国の権力や権威のもとにしか平和はないように、私たちは慣らされてしまっているのではないか。しかし、そこには真の平和はない。

友よ、真理への強い憧れを持とうよ。そして正義が世に満ちることを祈り求めようよ。御言葉を聞くだけでなく、それを行う人になろうよ。

母 榎本和子 葬儀感謝

榎本 恵
橋本 るつ子

イスラエルよ、今から
とこしえに、主によつ
て望みをいだけ。

詩編131…3
(口語訳)

イエスは主なり

このたびは、母榎本
和子の葬儀に際し、皆
様のお心を添えてくだ
さり、心より感謝いた
します。限られた日数
の中で、また小さな会
堂での葬儀でございま
したので、多くの方々
にご参列いただけな
かったことを、大変心
苦しく思っております
が、48年前「向こう岸
に渡ろう」という主の
声に聞き従い、その最
初の祈りを持って始め
られたアッシュラムセン
ターの会堂（ちいろば

記念チャペル）より、
送り出せたことは、神
様の大きいなる恵みで
あったと感激しており
ます。

母の97年の歩みは、
決して楽々の道ではご
ざいませんでしたが、
「わたしはあなたと共に
いる」と約束された
主の証の道であつたと、
確信しております。こ
の間、多くの皆様方が、
祈りを合わせ、

また助けをくだ
さったことを、
心より感謝申し
上げます。残さ
れました私たち
にとって、母を
失った悲しみは
まだまだ続くこ
とでしようが、
「主によつて望
みをいだけ」と
の聖書の言葉
を、母からの遺



前夜式の前に…。お母ちゃんの大好きな花、いっぱいであええやろ？お姉ちゃんが、頑張って頼んでくれたんやで。

言としてしっかりと受
け止め、これからの道
を、歩んで参ります。
母の織りかけの絨毯
を、私たちが引き継ぎ
織り続けて参ります。
そしてそれは、決して
途絶えることなく、次
から次へと織り手を与
えられ、最後には見事
な絨毯として織り上が
ることでしょう。

どうか、復活の御姿
で再会できる日を、待
ち望みながら、共に祈
り、励まし、支え合い
進んでいきますよう

に。皆様のご厚情に心
より感謝申し上げます。

なお、時期を改めま
して記念会を行いたい
と考えております。そ
の時には是非、多くの

榎本和子さまへ

白石 美恵子

保郎先生は、和子
姉のことを心配されな
がら召されたんだった
：＼と、おぼろ気な私
の記憶です。（和子姉
が召された）とお知
らせを受けて、これま
でのいろんなことで胸
いっぱいになりました。

（アッシュラム誌）に
写真を載せて下さって
いて、和子姉がお見舞
いの方との再会を喜ば
れ笑顔も見られて、も
うすぐ起きられそう：
とのことで、その日の
早いことを願ひ祈り

皆様にお集まりいただ
き、主の前に礼拝を捧
げ、母の思い出や懐か
しい昔話ができたらと
思っております。どう
ぞ、覚えお祈りくださ
い。

待っていました。

あの保郎先生が召さ
れた後、今後をどうす
るかの時、後宮先生ご
夫妻をはじめ、アッシュ
ラムに力を、お支え
の方々は、沢山いらし
たとしても、ほんとう
に和子姉が（神が力を
与え支えて下さる）と
信じ切れなかったらそ
の後を、芯になって引
き受けることは叶わな
かったのでは：と今更
ながら思います。
いつもご一緒に歩ま
れていたからこそ後を
引き受け歩み続けられ
たのでしょう。



母が信じたように、可愛い天使がラッパを吹いて迎えに来てくれたと私も信じます。和子先生、どうぞ安らかに…。

岡由香里（広野祈りの家・猪瀬和子姉（2022年9月20日召天）のご長女）

→30年程前。左から、松平姉、和子母！白石姉、恵師、そして空兄を抱いている子姉！



恵牧師もどこかに書かれていましたね。和子お母さんの（祈り）により支え導かれ力を与えられた、と。

るつ子姉もご夫君を早くに召されてどんなにか…と痛みましたが、お子様方と共に力強く、ゆたかな歩みをすすめられましたね。今更乍ら感服致します。

てる子ちゃんとのつらい別れの時にもるつ子姉、恵牧師、康子さ

んが共に居てくださって和子姉は、どんなに心強く有り難かったことでしょう。

和子姉は波乱万丈、いろいろな大変な年月を歩まねばならなかったけれど、多くの親しい方々が共に居てお幸せな日々だったと思います。

和子姉のように主にあって沢山の方々と出会えてお交わりを深めた。こんなにも豊かな人生はそんなになんとも思います。

神より与えられた命を生き生きと存分に用いて御旨に叶う生涯を生きたらと思ひます。

それでも別れは寂しく耐え難いことではあります。私も和子姉と皆様と出会わせて頂けた幸せを心より感謝申し上げます。

（今治教会）

（元今治めぐみ幼稚園教諭。和子姉と共に。）



▲天上の友（恵野隆師2022年11月29日召天）を憶える日礼拝後。左から恵野絢子姉、吉川晴美姉（恵野師の妹）、引原勝美兄。

恵野 絢子
和子先生のご召天のお知らせを今いただき、しばし沈黙のうちにおります。

和子先生のご生涯を通して主のご栄光が豊かにあらわされましたことを憶え、心から名前を崇め賛美申し上げます。

「天上の友を憶える日礼拝」のあと直接輝いたお顔の和子先生にお会いすることができましたこと本当に幸いです。

固く結ばれて

榎本和子（2009年4月号 アシュラム誌より）

台湾愛修会に暫く出席していなかった私はだんだん年齢を重ねているうちに行きたくても行けなくなる時が来るのではないかと、今歩くことができるうちにあの麗しの国台湾に行こうと何かに押し出されるような気持ちで出席しました。

（中略）

台湾愛修会とアシュラムセンターとは40年近くお互いに交流しておりますが、この度第34回年頭アシュラムで日台が今後一層絆をかたくする為締結協約禮拜を行いました。

台湾愛修会でも2月4日の充満のあと日本で行ったと同様の締結禮拜が行われました。出席者一同見守る中、李麗珍会長と榎本牧師の手で約束の書が交わされる感激の場があり、いつまでも、いつまでも固く結ばれて共に歩む愛修会（アシュラム）となりますよう祈りました。式後ブヌン族の若い男女17、8名が美しい民族衣装に身を装い、勇壮な、それでいて優美な踊りと歌で締結式を祝ってくださった時の光景が今も、私の心に焼きついています。

風習、言語は異なっても聖書の御言葉に聴き祈り賛美する中でお互い心通わせ合いつつ歩んでいくようにと願いました。（2023年8月15日召天）



保郎師召天後も、台湾アシュラムに参加。今は天にて台湾の友と再会中ですね。きっと。

でございました。お式の上に主のご臨在が豊かにありますように心からお祈りいた

します。主にあつて（堺大浜キリスト教会）（大阪聖書教室）



「早天祈禱会の祈りより」 「長年求めていたアシラムに参加できるようになりました。どうか、新しい出発となりますように。」
佐々木敬兄 92才(近頃、Z o o m 操作を学ばれ、早天に。)

第1回 ユース・リトリート アシラムの感想 ①

崔 盛林

今回のアシラムで一番印象に残った言葉は、「自分の知らない自分を見つけ出す」でした。アシラムのことを友達から聞いたばかりの時は、参加するかどうか結構迷いました。謎の不安感がすごかったです。

そしてアシラムの終わり頃になって初めて悟ってしまいました。その不安感は少数のイベントで、自分の隠れた(信仰心の薄い)側面が触れられることに対する恐怖から来たものでした。

活動中、神さまのために素晴らしい仕事をしている人々や、きれいな椅子を見て「早くここで聖書読みたいなあ」と滅茶苦茶嬉しそうに語る人(アキラ君)に出会いました。

彼らは本当に神に近づくことから誇りや純粋な喜びを得ているのだなあと感じました。

しかし、私はその誇りや喜びにあまり共感できていない自分に気づきました。



ユースアシラム開催を喜び心待ちにしていた和子母。「皆さんありがとう。これからも頼みますね。」翌日天へ。

いえじま 雑記4 風の記憶

九月に入り、沖縄も急に秋らしい風が吹くようになりました。日差しはまだまだ暑いのですが、窓を開けていると時折、気持ちのよい風が部屋を満たし、クーラーに長くあたりすぎて強張った足をほぐしてくれるようです。沖縄にもこんなに涼しげで、優しい風が吹く季節があったのかと、驚いています。何しろ沖縄で風といえば、台風の最中の、島を引きちぎらんばかりの暴風を思い出してしまうからです。

ときどき、この風は何を記憶しているだろうかと思ってしまう。その姿や形、強さや勢いを自在に変えながらこの島を漂ってきた風は、何を覚えているのでしょうか。隅におかれた被造物の痛みやさびしさを、風は覚えているのでしょうか。過去というものがここまで軽くなり、人々や国が記憶するという営為を意図的に放棄しようとしている昨今、わたしは風の記憶に学びたいような気持ちでいます。もしそんなことができればの話ですが。

風といえば、イエスのこんな言葉を思い出します、「風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない」。

◆「祖母を失うこと」和子祖母の告別式前後を感じたままに…月刊新潮10月号にて◆ 榎本 空(ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住)

根から見ると僕の価値観は自己中心的で神から遠ざかったものだということに気付きました。アシラムに来る前はそっちの方が僕に向いているとばかり思っていました。

でも彼らのように純粹な喜びを手に入れるためには、自分の価値

観をどうにかしなければならぬことに気付きました。神さまの助けを願いつつ、いつか内なる矛盾を解消し、その純粹な喜びを、身をもって感じる日が訪れることを願っています。

(日本華僑基督教団 大阪基督教生命堂)



大阪より杉山ミユキ姉。「ご夫妻でシメオン黙想の家の働きを、祈り支え続け下さり、感謝致します。」和子。



笑顔三姉妹?るつこ姉の次女みつこ姉。この度、新潟へ移住。「新潟アシラムの皆様、よろしく願いいたしますね。」和子。



←金田和子姉。保郎師、和子母と今治時代よりお交わり。四国からお見舞いに。念願の保郎師の椅子にて。義父は金田福一師。

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。
直前の変更の場合あり！

10月の聖書教室など

【主な問い合わせ先】
0748-33-4030
アシュラムセンター

3(火)	Zoom聖書教室 (AM10:30、PM7:30)
6(金)	阪神ミニアシュラム (神戸聖愛教会 PM1:00)
9(月)	福岡聖書教室 (博多クリオコートホテル PM1:30)
14(土)	聖書と学ぶ会 (Zoom PM8:00)
15(日)	ちいしば牧師記念チャペルタ礼拝 (PM5:00)
16(月)	使徒書に学ぶ会 (ZOOM AM10:30、PM7:30)
17(火)	大阪聖書教室 (大阪クリスチャンセンター AM10:30)
18(水)	みんなのカフェちいしば聖書入門講座 (京都・伏見区深草 PM1:30)
20(金)	センター聖書教室 (アシュラムセンター AM11:00) ZoomもOK
23(月)	静岡聖書教室 (旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30)
24(火)	東京聖書教室 (御茶ノ水クリスチャンセンター 4F AM10:30)
24(火)	しみじみする会 (桜美林大学 荊冠堂チャペル PM2:30)
25(水)	美しい足の会 (Zoom AM10:30、PM7:30)

10月のアシュラムなど

2(月) 3(火)	第47回 山陰アシュラム 奉仕者 アシュラム参加者	080-5493-9242 遠藤誠一師
12(木) 14(土)	第48回 加太アシュラム 加太国民休暇村 奉仕者 櫻本 栄次師	090-4282-1806 西川武兄
31(火) 11/2(木)	第18回 国際正義・平和アシュラム in 新潟 奉仕者 櫻本 恵師・齋藤 篤師・ 拿難 達道師・王 美満師	0748-33-4030 アシュラムセンター
11/2(木) 3(金)	佐渡島スタディツアー 奉仕者 三村 修師	0748-33-4030 アシュラムセンター

11月のアシュラム予定

11月1(火)～3(金)	第48回 京浜アシュラム
11月16(木)～18(土)	修道場、第45回 阪神(合同)アシュラム

12月以降のアシュラム予定

12月4(月)～8(金)	リトリートアシュラム
12月8(金)	合同平和祈禱会 in 神戸イエス団教会
2024年1月25(木)～27(土)	第49回 年頭アシュラム



←小加古川祈りの家9月、和子母召天後初。分かち合のいにて励まされ。親子三代のご参加も。

みことば



アシュラムセンター庭

日本基督教団仙台宮城野教会牧師
アシュラムセンター協力牧師
齋藤 篤

蟻の一族は力はないが
夏の間にパンを備える。

箴言30章25節

例年がない猛暑の日々であったこの夏。残暑も酷暑、立秋を過ぎてもおしどい暑さ。私の住む仙台は、9月に入ると朝夕は20度を割るのに、連日熱帯夜が続いています。今年だけと願いたいところですが、どうやら来年もこの暑さがやって来るとか言われたりもしています。どこに原因があるかは分かりませんが、それなりの対処をしながら、暑い夏に向き合っていくことを学ばされています。

さて、聖書に「夏」という言葉がどれほど登場するかを調べてみました。『聖書 新共同訳』によれば、夏という言葉が26回登場します。夏の果物、夏の日照りなどなど、夏にちなんだ言葉が聖書に収められています。聖書の舞台イスラエルは、春分から秋分くらいまでの期間は「乾季」で、雨が一滴も降らないような季節です。気温も50度に近づくこともあり、野の花がそのままドライフラワーのようになってしまうほどの暑さなのだそうです。

そのようななかで、夏の間にパンを集める「蟻」が聖書に登場します。イソップ童話のひとつである「アリとキリギリス」でも描かれている、夏の間に食糧を蓄えて冬の季節に備える蟻の姿が、聖書・箴言の言葉にも登場するのです。

ただ、箴言の言葉には、蟻について「力はないが」と描かれているのは、とても興味深いと思います。非力な存在として描かれている蟻は、私たち人間の姿にもつながります。しかし、力無くとも将来のために生きるための糧を蓄えていく。これはまるで、日々与えられる御言葉を15分という短い時間のなかでも蓄え続けることで、神から生きる希望と力を感じとることができる私たちの生き方というものに、相通じるのではないだろうか。そのように思えてならないのです。

今日もまた、私たちのうちに神の御言葉が浸みわたりますように。

10月中旬、いよいよアベルモン宣教師がブラジルから来日！住まいとなる修道場は修理、片づけ真最中！皆様の祈り、お支えに感謝です。これからよろしくお願いいたします。アシュラムセンター一同



センター聖書教室、9月は詩編148篇。
ハレルヤ 天において 主を賛美せよ。

高い天で 主を賛美せよ。